

## J Aバンク静岡における地域密着型金融の取組状況（平成 22 年度）

J Aバンク静岡（静岡県下 J Aと静岡県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、J Aバンク静岡 3 か年計画（平成 20～22 年度）に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

平成 22 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク静岡は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### （1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク静岡は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 23 年 3 月末時点の J Aバンク静岡の農業関係資金残高<sup>（注1）</sup>は 47、969 百万円（うち農業経営向け貸付金 44、159 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>（注2）</sup>残高は 12、521 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク静岡が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

#### 【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	23 年 3 月末現在
農業	44,159
穀作	1,443
野菜・園芸	7,273
果樹・樹園農業	2,567
工芸作物	10,036
養豚・肉牛・酪農	2,549
養鶏・鶏卵	629
養蚕	0
その他農業（注 3）	19,660
農業関連団体等（注 4）	3,810
合計	47,969

（注 3）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

（注 4）「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】 単位 百万円

種 類	23年3月末現在
プロパー資金（注5）	30,747
農業制度資金（注6）	17,222
農業近代化資金	5,857
その他制度資金（注7）	11,365
合 計	47,969

（注5）プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

（注6）農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク静岡が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

（注7）その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 単位 百万円

種 類	23年3月末現在
日本政策金融公庫資金	12,521
そ の 他	0
合 計	12,521

・JAバンク静岡では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

（2）担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク静岡では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店の担当者が、お客様からお聞きした情報をもとに、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内19JAの本店には20人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

（3）6次産業化に向けた農商工連携の推進

JAバンク静岡では、中央会、経済連などと連携し、生産者・JAと加工流通業者との商談会の開催など、農業6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数
ふじの国 食と農 健康づくりフェア	平成23年1月21日	静岡県	200団体
日本公庫静岡県農業・食品産業交流会	平成22年12月2日	日本公庫静岡支店	38団体

## 2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク静岡は、担い手をサポートするため、次の取組みを行っています。

### (1) 新規就農者の支援

J Aバンク静岡では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件、百万円

	平成 22 年度 実行件数	平成 22 年度 実行金額	平成 23 年 3 月末 残 高
就農支援資金（転貸）	26	370	1,176
JA ニューファーマー支援資金	1	3	18
合計	27	373	1,194

### (2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク静岡では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取組んでいます。

#### 【平成 22 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営 改善支援 取組先 A	Aのうち期 中に再生計 画を策定し た先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計 画策定 率 = a / A	ランク アップ 率 = b / A
正常先①	5	0	0	5	0.0%	0.0%
要注意 先	うちその他要注意先②	18	0	1	0.0%	5.6%
	うち要管理先③	0	0	0	—	—
	破綻懸念先④	9	1	0	11.1%	0.0%
	実質破綻先⑤	4	0	0	0.0%	0.0%
	破綻先⑥	0	0	0	—	—
	小計(②～⑥の計)	31	1	1	3.2%	3.2%
	合計	36	1	1	2.8%	2.8%

・期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 23 年 3 月末時点でのものです。

### 3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク静岡では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク静岡では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

#### 【平成 22 年度負債整理資金の貸出実績】

単位 件、百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成 23 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	116
畜産特別資金	0	0	20
合計	0	0	136

- ・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金です。
- ・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金です。

### 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク静岡では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 災害被災者への支援

J Aバンク静岡では、凍霜害による被害への支援のため対策資金を創設したほか、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件、百万円

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行 金額
農業災害対策 支援資金の創設	J A伊豆太陽	3月11日の大震災の発生を受け農業災害対策支援資金を創設。直接被害・間接被害に対応。今回の大震災のみならず、災害や社会的・経済的な急激な環境変化等による売上減少などにも対応できるように創設。	0	0
家畜飼料 特別支援資金	静岡県下 J A	養鶏業者等への輸入飼料原料高騰に対する対応資金。 (独立行政法人農畜産業振興機構)	0	0
「台風9号による罹 災農家」農業者ロー ンの特別金利対応	J A御殿場	台風9号で罹災した組合員に対し、農業者ローンの軽減金利を△1.5%とし、1.00%にて対応。	0	0
自然災害対策資金	J A富士市	凍霜害で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、低利の資金を対応。	0	0
茶生産農家 経営安定化資金	J A富士市	茶価の暴落・凍霜害・雹害で被害を受けた茶生産農家の経営安定化のために、低利の資金を対応。	9	19

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
平成 22 年 3 月 凍霜害緊急支援策	J Aしみず	3 月 30 日に発生した凍霜害、低温による生育遅れに対して、J A 災害等特別融資を発動し資金対応。(静岡市の利子補給を受け無利子対応)	5	4
静岡市茶樹活力促進 支援事業	J Aしみず	茶生産者が購入し、施肥する秋肥に対して 5 % の金額助成を実施。(貸付ではなく補助金として実施(実績 1 百万円))	408	0
異常気象対応型 園芸産地強化事業	J Aしみず	平成 22 年夏季における高温、干ばつ等の異常気象の影響を受けた果樹の生産量、品質の改善のために必要な資材の導入。	719	67
平成 22 年度凍霜害 対策資金	J A大井川	凍霜害で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、J Aおよび行政の利子補給を受けた無利子の資金を対応。	211	989
凍霜害緊急支援資金 の対応	J Aハイナン	平成 22 年 3 月 30 日の凍霜害で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた実質無利子の資金を対応。	149	577
凍霜害被害に伴う 農業経営支援資金 の対応	J A掛川市	凍霜害による被害を受けた組合員に対し、掛川市からの利子補給による低金利資金にて対応。	135	320
石油価格高騰による 生産資材価格高騰対 策資金による対応	J A遠州夢咲	昨今の石油価格高騰による農業生産資材の価格高騰への対応策として、御前崎市、菊川市から利子助成による低利資金を創設して対応。	39	71
大規模凍霜害 災害対策資金の対応	J A遠州夢咲	平成 22 年 3 月に発生した茶等の大規模な凍霜害の被害を受けた組合員に対し、御前崎市、菊川市、掛川市の利子補給を受けた低利資金を対応。	164	377
茶園凍霜被害による 「農業者災害緊急対 策資金」の対応	J A遠州中央	凍霜害により茶園に被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応。	8	24
家畜飼料 特別支援資金	J Aみっかび	飼料代の価格高騰により資金繰りが困難となった組合員に対し行政の利子補給を受けた低利の資金を対応。	1	7
静岡県信連担い手 農業者金融支援対策 の実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰への対応として、県下 J A の農業資金借入者に対する利子助成を実施。	利子助成件数 229	利子助成額 7
茶等農産物凍霜害に 係る金融支援	静岡県信連	凍霜害に遭われた農業者の農業経営の安定化を図るため J A の災害対策資金の借入者に対する保証料助成を実施。	助成件数 694	助成額 18

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
平成 22 年産米緊急特別対策の実施	静岡県信連	米生産農家を支援するため、農林中央金庫の利子助成事業に協調し「平成 22 年産米特別対策実施要綱」並びに同要領を制定。	平成 23 年 9 月利子助成金交付予定	
合計				

## (2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク静岡は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校約 520 校の小学 5 年生（約 3 万 5 千人）に配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J Aでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

### 【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動内容
J A伊豆太陽	サツマイモ等栽培体験学習
J A三島函南	学校給食への地元食材提供、体験活動
J Aあいら伊豆	トウモロコシ等収穫体験、学校給食への食材提供
J Aなんすん	農業スクール、茶手揉み体験、稲作体験等
J A御殿場	食農体験教室（水稻栽培体験等）
J A富士市	食農体験学習（稲作、芋掘り、落花生収穫等）
J Aしみず	学校飲み茶提供
J A大井川	親子農業体験教室等
J A掛川市	稲作体験、茶手揉み体験、料理教室等
J A遠州夢咲	ひまわり栽培体験、農業・農産物の展示会
J Aとびあ浜松	農業体験学習
J Aみっかび	もち米作り体験、学校給食への食材提供等

以 上